

洛南だより

生徒努力目標

「気づき、考え、行動する。」



京都市立洛南中学校 平成28年7月15日発行 ホームページアドレス <http://www.edu.city/kyoto.jp/hp/rakunan-c/>

6月実施

生徒・保護者アンケートより

学校生活のアンケートから、多くの生徒が充実した学校生活を送っていることが伺えます。規範意識やあいさつなどについては、やや楽観的にとらえている反面、自分自身の優しさや自己有用感・自己肯定感については、自己評価がまわりの評価より厳しい傾向が見られます。学校生活やいろいろな行事を通して、自分の良さに気づくとともに、より高い規範意識を培えるよう取り組んでいきたいと思えます。

学習については、学校からの宿題を中心に取り組んでいますが、自主的に学習する習慣が身につけていない生徒も多く、家庭学習の時間が短いことも課題となっています。

各学年の結果からは、一概には結論づけられないものの、朝すっきりと起きる・朝食をしっかり取る・家庭での学習を充実させる・学校生活の色々な場面で頑張っているなど、生活リズムが学校生活や学習に影響していると考えられます。学校と家庭との連携が、子供たちのよりよい成長に繋がっていることから、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

アンケートから見た今後の取組

【学校生活において】

～すべての生徒が楽しく充実した学校生活を送れるように～

- 自分のクラスや学年、学校生活において、集団の一員としての自覚を持った行動ができるよう、行事や学級活動等の教育活動を工夫し、すべての生徒の自己有用感・自己肯定感を高める取り組みを進めます。

【学習において】

～どの生徒にもわかる授業を目指して～

- 生徒が「わかった」と実感できる授業・楽しい授業（わかること自体が楽しいと思える授業）を実践するとともに、思考力・判断力・表現力を高める授業を目指します。
- 学んだことを自ら身につけるための家庭学習を充実させるため、自主学習課題や家庭学習課題の設定や指導の工夫に取り組めます。

【家庭において】

～ご家庭での子供たちとの会話を増やしてください～

- 学校生活や友達とのかかわり、進路や将来についてなどの会話を通して、学校との連携も深められるようお願いいたします。
- 家庭学習の充実のためにも、遊び時間や携帯電話利用の約束事について等、ご家庭でも話し合ってください。

【社会の一員として】

～地域や社会を大切に、貢献できるように～

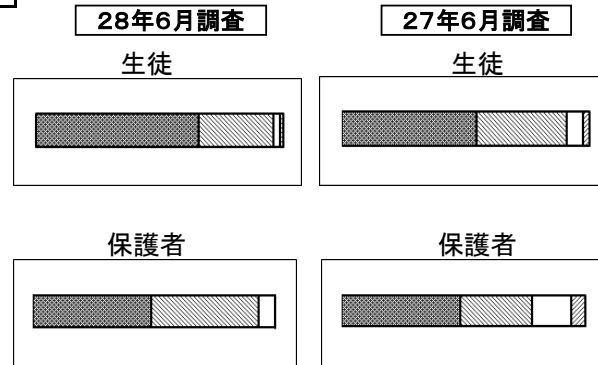
- 進んであいさつする習慣や、人の気持ちを考えた言動など、周りの人を大切にする生き方を身につけ、地域の一員としての自覚が持てるよう取組を進めます。

平成28年度 学校評価アンケート(生徒・保護者 6月)まとめ

学校は楽しい(1年生)

- 楽しい
- 楽しいほうだ
- どちらかといえば楽しくない
- 楽しくない

1年

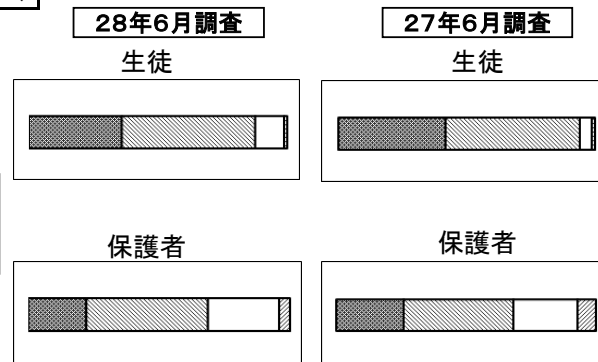


今年度も多くの1年生が「楽しく学校生活を送っている」と回答しています。
 中学校生活にも慣れてくる中で、子供たちがいきいきと活動できる学級や学年を目指し、より楽しい学校にしていきたいと思います。

学校生活は充実している(2年生)

- している
- している方だ
- どちらかといえばしていない
- していない

2年

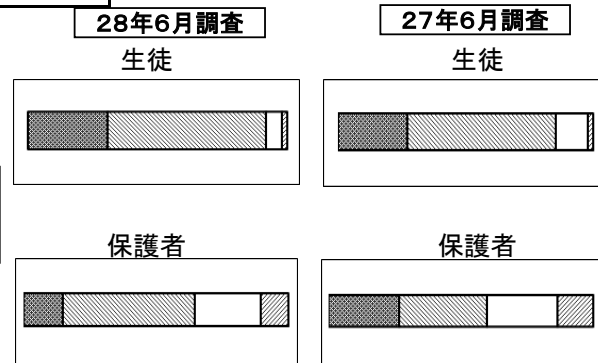


「学校生活は充実している」と回答している生徒がたくさんいる中で、充実感が持てない生徒にも焦点を当て、一人でも多くの生徒が活躍できるよう取り組みたいと思います。

3年生としての自覚を持って行動する(3年生)

- している
- している方だ
- どちらかといえばしていない
- していない

3年



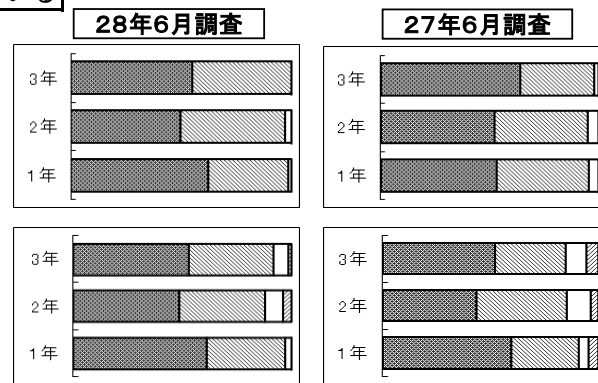
「自覚を持って行動している」と回答している生徒が増えています。先輩としての自覚を持った行動が、部活動をはじめ、さまざまな場面で、学校をよりよくする雰囲気につながるよう取り組みたいと思います。

気軽に話ができる友人が学校にいる

- たくさんいる
- いる
- あまりいない
- いない

生徒

保護者



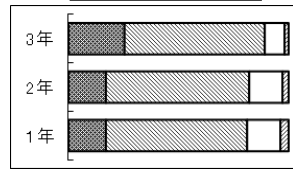
学年進行とともに、ほとんどの生徒に気軽に話せる友人が増えているようです。一方、少数ではありますが「あまりいない」「いない」と答えている生徒にも目を向け、大切にする指導を進めていきたいと思います。

話をよく聞いてくれる先生がいる

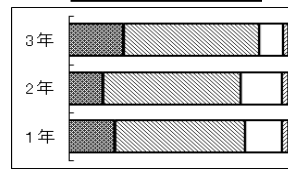
- たくさんいる(生徒)
- いる
- あまりいない
- いない

生徒

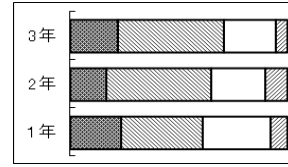
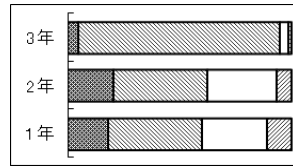
28年6月調査



27年6月調査



保護者



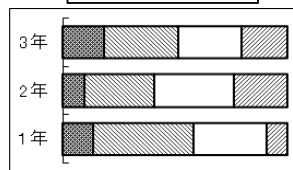
さまざまな時間に話ができるよう取り組んでいます。「いない」「あまりいない」と回答している生徒がどの学年にもいます。一人一人の生徒とコミュニケーションがとれるよう、より意識して取り組みたいと思います。

家で学習している時間

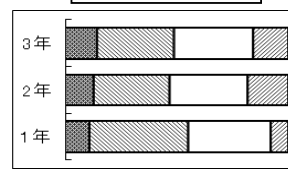
- 2時間以上
- 1時間程度
- 1時間未満
- していない

生徒

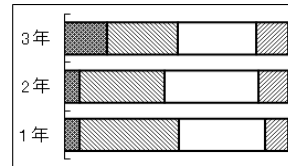
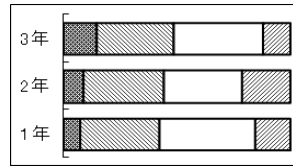
28年6月調査



27年6月調査



保護者



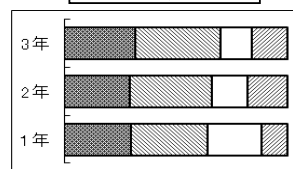
今年度についても、2年生になると家庭学習の時間が減少する傾向がみられます。3年生になると頑張ろうと意識していることから、2年生の時期に家庭学習習慣をしっかりと身につけることで、3年生での学習の伸長につながると思われます。また、家庭学習の大半が学校の宿題などであることから、予習・復習や自主学習に積極的に取り組めるよう、課題の出し方を工夫し、学習の仕方をアドバイスしたいと思います。

家庭学習の内容は何ですか(生徒)

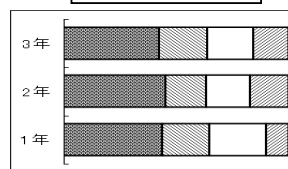
- 家庭学習課題
- 宿題
- 予習・復習
- それ以外

生徒

28年6月調査



27年6月調査

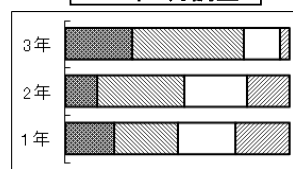


家で将来(進路)について話をする

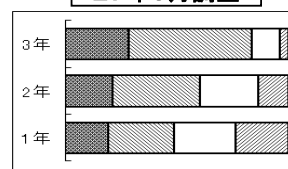
- している
- 時々している
- あまりしていない
- していない

生徒

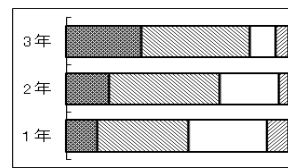
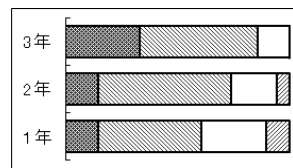
28年6月調査



27年6月調査



保護者

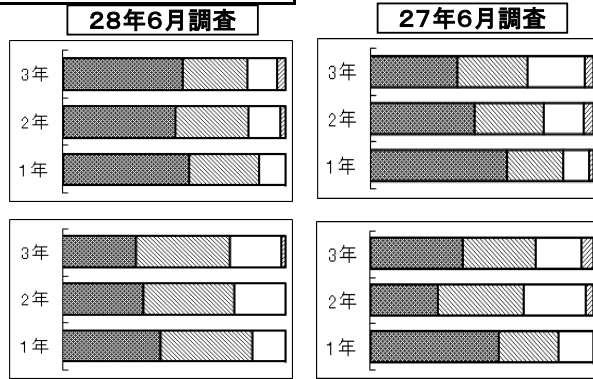


例年同様、学年が上がるとともに話をする割合が高まっていますが、2年生でやや少ない傾向にあります。進路については早い時期から話をするのが大切です。学校からも適切な情報発信を行い、家庭で話す機会を増えるようにすすめていきたいと思っています。

学校からのお知らせプリントを家の人に見せている

- 見せている
- 見せているほうだ
- どちらかと言えば見せていない
- 見せていない

生徒
保護者

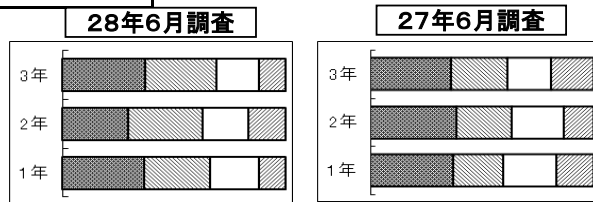


学校からはさまざまな情報の資料が配布されています。特に保護者向けの資料については、確実に手渡すよう指導していますが、子供たちが多くのプリントを整理して、家庭で活用したり、保護者と一緒に読んだりできますよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

朝、すっきりと起きることができる

- 起きている
- おおむね起きている
- 起きにくいときがある
- 起きにくい

生徒

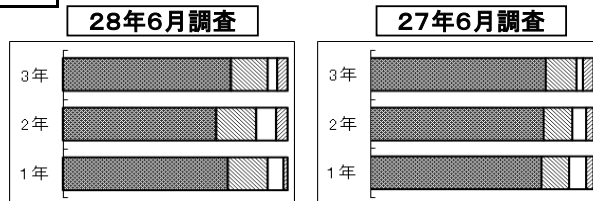


朝、起きにくい生徒が少なからずいます。理由の多くが「寝るのが遅い」と回答していることから、ご家庭でも就寝時間が遅くならないようご協力をお願いします。

毎朝食事はきちんと食べている

- 食べている
- おおむね食べている
- 食べていないときがある
- 食べていない

生徒



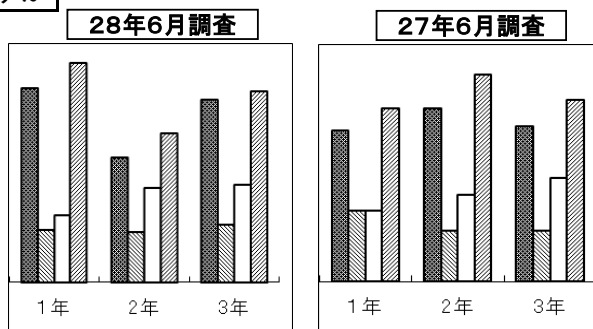
ここ数年、朝ご飯を食べてきている生徒が増えており、一日のよいスタートが切れています。朝食は、毎日の習慣です。学校生活や学習への影響も大きいため、早起きして朝食を食べるようにご協力をお願いします。

頑張っていると思う活動は何ですか

(複数回答)

- 授業
- 学級活動(生徒会活動)
- 行事
- 部活動(地域でのスポーツ活動)

生徒



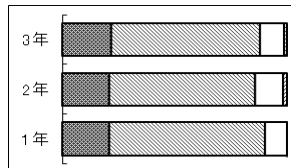
1年生は、部活動や学習に対して高い意識を持っているようです。しかし、どの学年も、学級活動や行事に対する意識が低く、学校生活の充実という面からも、あらゆる場面で頑張れる生徒育成を目指したいと思います。

授業参観より

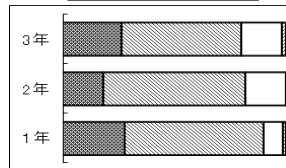
授業に集中している

- 集中している
- 集中しているほうだ
- どちらかと言えば集中していない
- 集中していない

28年6月調査



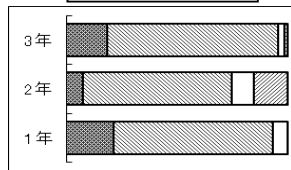
27年6月調査



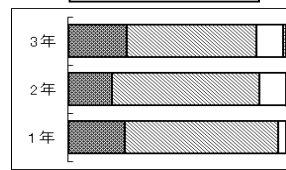
わかりやすい授業をしている

- わかりやすい
- わかりやすいほうだ
- どちらかと言えばわかりにくい
- わかりにくい

28年6月調査



27年6月調査



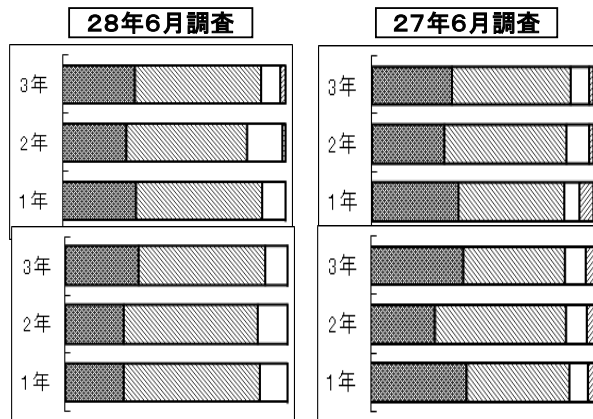
今年度は、どの学年も授業の集中に関してはあまり変わりのない結果でした。集中していない生徒が少なからずいることから、この課題については、授業者の指導力向上をはかりながら、地道に取り組まなければならないと思っています。

また、今年の参観での授業がわかりにくかったという評価については、真摯に受け止め、自身の授業改善を図り、どの生徒にもわかる授業を目指すことが、学力向上の基本だと思っています。研修を深め、生徒の学力向上に活かせるよう頑張りたいと思います。

あいさつをしている

- 自らしている
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- ほとんどしていない

生徒
保護者

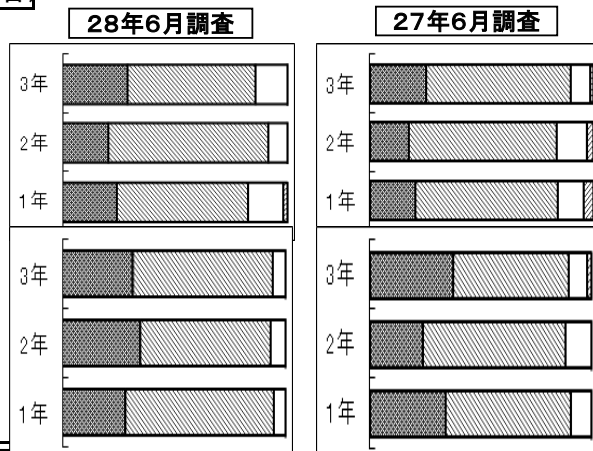


あいさつに関しては、生徒・保護者ともに「しているほうだ」という回答がほとんどでした。生徒会や部活動の取組、あいさつ運動の成果だと思われますが、自ら元気よくあいさつできているかどうか振り返りが必要でしょう。来校された方々からは、気持ちのよいあいさつに高い評価をい

**人の気持ちを考えた言葉かけや行動をしている(生徒)
まわりの人を大切にする(保護者)**

- できている(生徒)
- している(保護者)
- できているほうだ
- しているほうだ
- どちらかといえばできていない
- どちらかといえばしていない
- できていない
- していない

生徒
保護者

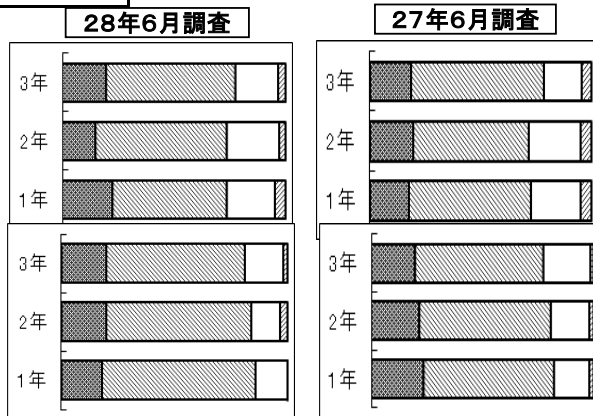


例年同様、大半の生徒が「できている」と回答しています。しかし、他の設問と比較すると、生徒の自己評価が保護者のものより低いのが特徴的です。人を思いやる気持ちに自信を持って行動してほしいと思います。
この視点は、本校教育の根幹となるものですので、今後も更なる向上を目指したいと思います。

自分の良さに気づき自分を大切にしている

- している
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- していない

生徒
保護者

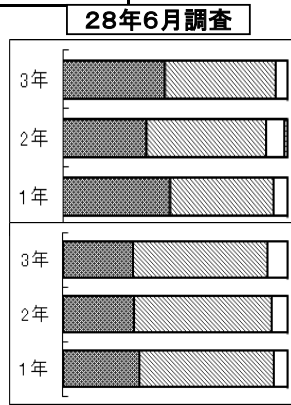


この設問に関しても、保護者の評価より自己評価のほうが厳しい結果が出ているように思われます。自分の良さに気づき、自分に自信が持てるよう、自己肯定感や自己有用感を高める取り組みやはたらきかけをしていきたいと思っています。

ルールやマナーを守って生活している

- している
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- していない

生徒
保護者



今年度から設定した設問です。規範意識は、自己有用感や学力とも関連していると考えられているため、継続して見ていきたいと思っています。
この設問からは、どの学年においても、保護者から見た評価に比べ、生徒の自己評価が甘い傾向が伺えます。